

参加無料

「やさしい日本語」研修会

【主催】鳥取県

外国人とのコミュニケーション ～やさしい日本語の活用～

県内に住む外国人は増加傾向で、国籍も多様化しています。外国人に情報を伝える場合、多言語での対応には限りがありますが、簡単な日本語であれば理解できる外国人住民の方は多いことから、外国人への情報提供やコミュニケーション手段として、「やさしい日本語」を広く活用することが期待されています。今回の研修では、「やさしい日本語」とはどのようなものか、その作り方のポイントなどを学びます。

●「やさしい日本語」とは？

難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある人など、様々な方にとってわかりやすいコミュニケーション手段の一つです。

例) 高台に避難してください。 → 高い^{たか}ところに逃^にげてください。

こちらにおかけください。 → ここに座^{すわ}ってください。

発熱の症状がある場合は、かかりつけ医にご相談ください。

→ 熱(ねつ)があるとき、いつも行(い)くお医者(いしゃ)さんに話(はな)してください。

日時

令和4年1月27日(木)
13:30～15:00

開催方法

オンライン開催
(Cisco Webex)

対象

行政関係者、医療関係者、教育・保育関係者、企業・団体関係者、一般県民の方

おたち くりえ
講師: 御館 久里恵 氏

鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター 准教授



【講師プロフィール】

専門は日本語教育。鳥取大学で留学生対象の日本語教育、全学生対象のグローバル教育、日本語教員養成科目等を担当。地域日本語教育の実践や支援者養成にも関与。2015年度より自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、2016年度より文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」地域日本語教育アドバイザー。著書に「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」(共著、凡人社、2010年)など。

申込期限 令和4年1月20日(木)

内容の詳細、申込方法等は裏面を御覧ください。

WEBフォームからも
申込可能です



内容

- ・日本及び鳥取県における多文化化の現状と背景
- ・やさしい日本語とは
- ・地域社会における共通言語としてのやさしい日本語
- ・やさしい日本語の作り方のポイント
- ・演習

「やさしい日本語」について

◎「やさしい日本語」の始まり

きっかけは、阪神・淡路大震災です。外国人被災者の中には、日本語が理解できず必要な情報を受け取ることができなかった人もいました。そこで、外国人に対しても迅速に災害などの情報伝達を行う手段として考え出されたのが「やさしい日本語」です。

現在では、自治体での生活情報の発信や外国人観光客とのコミュニケーション手段として活用されるなど、取組が広がっています。

「やさしい日本語」研修会 申込方法

◎お申し込みは、以下①、②のいずれかの方法でお申し込みください。

【申込締切】令和4年1月20日（木）

①電子申請（とっとり電子申請サービス）による申込み

右のQRコードを読み取っていただき、電子申請フォームに必要事項を記載の上、お申し込みください。



②ファクシミリ又はメールによる申込み

以下の申込書に必要事項をご記載の上、ファクシミリ又はメールでお申し込みください。
(ファクシミリ) 0857-26-2164 (メール) kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp

◎当日の研修会のURLと資料は、研修会開催の2日前（1月25日（火））までにお申し込みいただいたメールアドレス宛にお送りします。

◎研修会資料と講演動画について、研修会開催後に閲覧を希望される場合は、団体名、氏名、資料送付先メールアドレスを記載して、メールで交流推進課（kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp）まで申し込んでください。

団体名				
参加者	氏名		メールアドレス	
	氏名		メールアドレス	
	氏名		メールアドレス	
講師への質問等があれば記載してください				
担当者連絡先（電話）				
備考				

【問合せ・申込先】

鳥取県 交流人口拡大本部 観光交流局 交流推進課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

電話：0857-26-7595 ファクシミリ：0857-26-2164

電子メール：kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp

※この事業は一般財団法人自治体国際化協会（クレア）の地域国際化推進アドバイザー派遣事業を活用して実施しています。